

倉岳地域 避難所一覧

※指定緊急避難場所(第1次)……災害が発生し、または発生の恐れがある場合に、その危険から逃れるための避難場所。
 ※指定避難所(第2次)……災害の危険性があり、避難した方や災害により家に戻られなくなった方に必要な期間、滞在していただく臨時の施設。

避難対象地区	施設名	電話番号 (市外局番 0969)	指定緊急避難場所(第1次)		指定避難所 (第2次)
			風水害	地震・津波・高潮	
浦地区	浦地区コミュニティセンター	64-3188	○		
	浦グラウンド (浦地区コミュニティセンター)			●	
	浦6区公民館				○
	浦1区公民館				○
	浦2区公民館				○
	松尾公民館				○
	小浦公民館				○
棚底地区	倉岳小学校体育館	64-3324			○
	倉岳小学校グラウンド			●	
	倉岳中学校体育館	64-3389			○
	天草高校倉岳校グラウンド			●	
	倉岳老人福祉センター	64-3788	○		
	棚底地区コミュニティセンター	64-3664			○
	棚底2区公民館				○
宮田地区	宮田地区コミュニティセンター	64-2001	○		
	宮田八幡宮			●	
	宮田5区公民館				○
	倉岳漁村センター				○
	宮田1区公民館				○
	宮田2区公民館				○

※●はグラウンドなどの屋外施設

避難所生活の心得

避難所の生活では、ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するのはマナー違反です。
 ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。
 また、避難所では、要配慮者への心配りも必要です。

① 連絡先などの申告



避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や町内会ごとにまとまって過ごすようにします。
 帰宅困難者はその旨を申告します。

② 役割分担



受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事はしっかり行いましょう。
 お互いに協力し合って避難所を運営しなければならないことも多くあります。

③ 体調管理・衛生管理



急激な環境変化で体調を崩さないように心掛けましょう。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。

ハザードマップの見方

● 洪水・土砂災害ハザードマップ

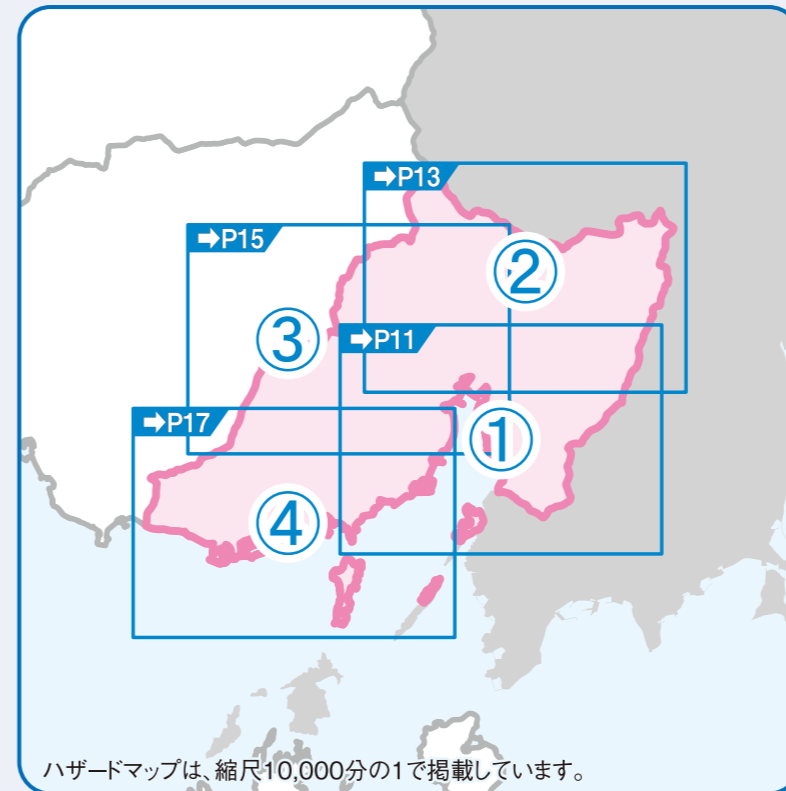
洪水浸水想定区域について

倉岳地域内を流れる浦川(支川 名桐川)、目玉川が、大雨によって氾濫した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を示しています(熊本県作成)。
 想定される大雨の規模は、以下の通りです。

- ・浦川: 概ね30年に1回程度起こる大雨
- ・目玉川: 概ね10年に1回程度起こる大雨

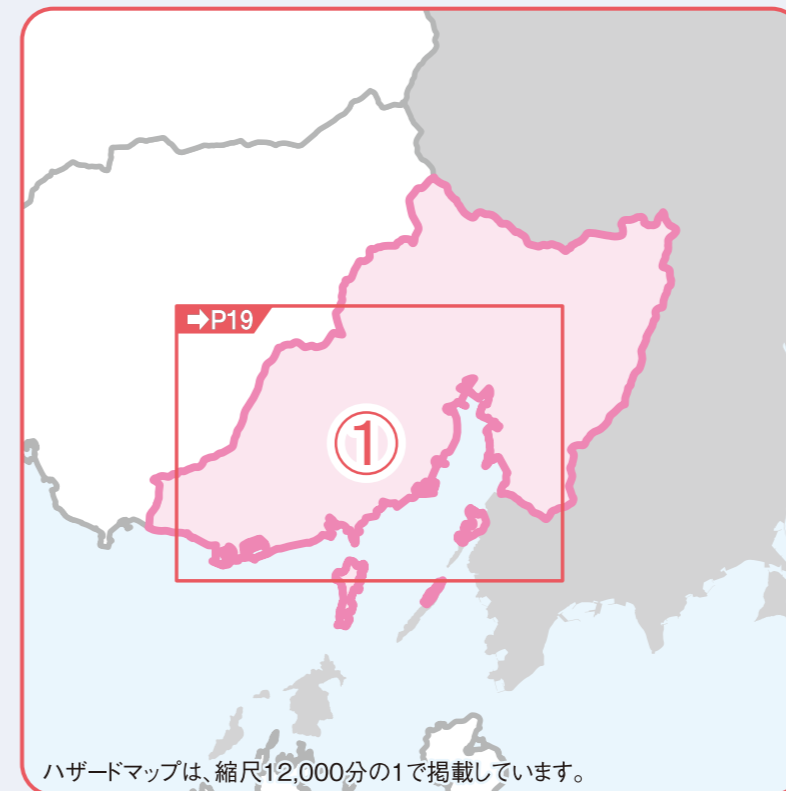
土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています(平成29年末時点)。



ハザードマップは、縮尺10,000分の1で掲載しています。

● 高潮ハザードマップ

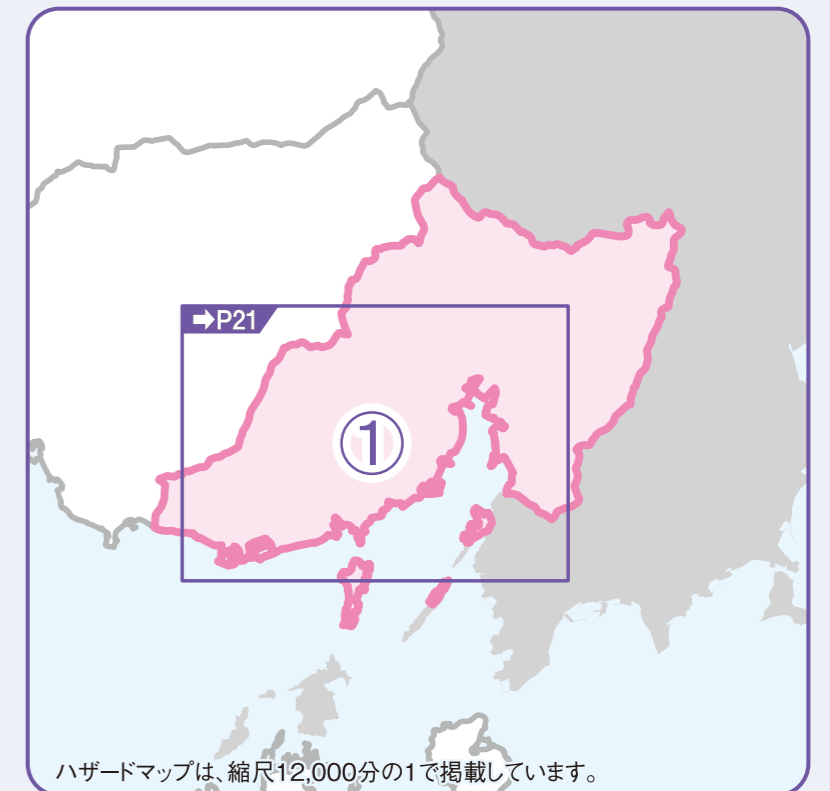


ハザードマップは、縮尺12,000分の1で掲載しています。

高潮浸水想定区域について

熊本県内の沿岸部を対象に、満潮時に伊勢湾台風(中心気圧940hPa、想定最大風速45.4m/s)相当の台風が、最も影響するコースを通過し、海岸の堤防を越えて浸水した場合を想定しています。

● 津波ハザードマップ



ハザードマップは、縮尺12,000分の1で掲載しています。

津波浸水想定区域について

3つの断層モデル(雲仙断層群、布田川・日奈久断層帯、南海トラフの巨大地震)を対象に6ケースの津波シミュレーションを行い、各計算結果の最大となる浸水域と浸水深を示しています。
 なお、津波によって堤防などの構造物が破壊される場合を考慮して計算しています。